



もりぐち今・むかし、そして未来へ

～知れば気になる！もっともっと

大好きになる守口!! ～

☎生涯学習・スポーツ振興課 ☎06-6995-3158

第4回 もりぐちと淀川～淀川治水の歩み

今年、市制施行80周年を迎える守口市。本連載は、市内に残る歴史資源や身近な風景を通して、守口のこれまでの歩みと魅力を5回シリーズで紹介します。

この機会に、もりぐちの「むかし」と「今」、そして「未来」につながるまちの魅力を感じていただければ幸いです。

第4回は、市民の皆さんにとって身近な「淀川」の歴史と、人々が自然の脅威に立ち向かいながら築いてきた治水の歩みをお届けします。

淀川と守口市の歴史 ～治水の取り組み～

私たちが暮らすこの大阪平野は、もともと淀川や大和川の氾濫によってできた土地で、標高が低く、川の流れも緩やかなため、古くから流域に住む人々の生活に欠かせない存在である一方、昔からたびたび洪水による甚大な被害に悩まされました。淀川では、明治～昭和時代にかけて多くの改修工事が行われ、現在の治水体制が築かれました。その中で、守口市は沿岸地域として淀川とともに歩んできました。

明治時代の淀川改良工事とデレーケの功績

明治18(1885)年の大洪水をきっかけに、淀川では大規模な改良工事が始まりました。この工事を指揮したのが、オランダ人技師ヨハネス・デレーケです。彼は、淀川を「治水のモデル河川」とすることを目指し、川幅を広げ、堤防を整備するなど、当時としては画期的な取り組みを実施しました。この工事により、淀川の下流部では洪水被害が大幅に減少しました。



ヨハネス・デレーケ
(肖像画イメージ)

大正時代から昭和初期の治水工事

この時期には淀川の中流部や上流部では洪水被害が続き、さらなる改修工事が行われました。

①大正7(1918)年開始の淀川修補工事

大正6(1917)年の台風豪雨で木津川の堤防が決壊し、多くの家屋が浸水する被害が発生しました。水害をきっかけに、堤防の高さを見直し、弱い箇所を補強する工事が実施されました。枚方市や八幡町で堤防の強化が進められ、三川(桂川・宇治川・木津川)合流地点では背割堤(宇治川と木津川を分ける堤防)を構築し、洪水の流れを分散させる工夫がされました。

②昭和14(1939)年開始の淀川修補工事

昭和10(1935)年と昭和13(1938)年に桂川で大規模な洪水が発生したことで、淀川本流や桂川の計画高水流量が引き上げられました。堤防の漏水対策として綱矢板を打ち込むなどの強化工事が行われ、さらに淀川下流域では高潮対策としてコンクリート護岸が整備されました。

守口市と淀川の関わり

守口市は淀川に隣接する地域として、治水工事の恩恵を受けてきました。淀川の堤防は洪水や高潮から市民の暮らしを守る重要な役割を果たしています。一方で、堤防の高さが10mを超える現在の淀川は、過去の洪水被害とそれに対応する工事の歴史を物語る貴重な存在です。

(【参考引用文献】淀川百年史、国土交通省近畿地方整備局・大阪府ホームページほか)

守口市淀川河川敷運動広場

市では、国(国土交通省)から淀川の河川敷の土地(大日町4-305-2～佐太西町1-8-6)を借り受けて、市民の皆さんがスポーツなどを楽しめる運動広場として提供しています。ウォーキングやジョギング、スポーツを楽しみながら、淀川の自然や歴史に想いを馳せることができます。

広々とした敷地には、サッカーや野球ができるグラウンドが整備されており、家族連れや友人同士での利用にもぴったりです。また、淀川の堤防からは四季折々の風景を楽しむことができます。

私たちの暮らしを守ってきた淀川の治水の歴史と、自然の豊かさを身近に感じられる「淀川河川敷運動広場」をぜひ訪れてみてください。

※団体利用は、守口市民体育館へ ☎06-6992-8201 休館日…第1・3水曜日



守口市淀川河川敷運動広場



寄贈資料(梶山家文書)

明治18(1885)年4月

「明治18年に作成された国境図の地元控えのもの。大庭七番村の庄屋を務めた梶山家が所蔵していた。当時の淀川の堤の形状はもちろん、「凡例」から土地利用、砂州の様子などがわかる重要な資料である」(『令和7年度市文化財展パンフレット』より)



縄文土器のかけら



まじないに使われたとされる人面壺土器

淀川左岸の河川敷で見つかった守口市の八雲遺跡の遺物
昭和46(1971)年建設省による淀川敷改修工事の際に発見された遺跡で、縄文～江戸時代の遺物が多数出土した。

ボランティアの輪を広げよう！

地域の支え合いアイデア交流会

7月1日に開催しました



地域活動に取り組む団体・個人、民間企業や社会福祉協議会、市職員など38人が集まり、それぞれの活動や課題について意見交換をしました。

少子高齢化が進む今、地域ではさまざまな「困った」が生まれています。「高齢になっても安心して暮らしたい」「子どもたちに良い地域を残したい」そう願う私たち一人ひとりが力を合わせる必要があるのではないでしょうか。

「地域のために何か始めてみたい」「自分の経験や空き時間を活かしたい」という人は、ぜひ私たち生活支援コーディネーターに連絡してください！



生活支援コーディネーター（高齢介護課委託事業）

生活支援コーディネーターは地域のつなぎ役として、小学校区を基準に配置しています。問い合わせは住まいの地域のコーディネーターまでお願いします。

よつば・梶・藤田・八雲東(大日東町1～10番)・庭窪・金田・佐太… ☎(天野)080-7009-5467

八雲・八雲東(大日東町1～10番除く)・守口・さつき(旧滝井)… ☎(治田)070-4386-6243

さつき(旧春日)・さくら・寺方南・錦…………… ☎(水野)080-5633-1004



～参加した団体の活動例を紹介～

地域をつなぐシニア向けスマホ講座 一般社団法人 地域つながりサポート

スマートフォンを持つ人が増える中、不安を抱えながら使っている人も増えています。

「分からないことが何か分からない」「なんとなく使っている」小さな悩み事を気軽に聞ける場所として、今さら聞けないスマホ講座を開催しています。

教科書を使い、自分のスマホの操作をゆっくり丁寧に何回でも聞きながら、みんなでチャレンジしています。

離れている家族・友人との連絡や、出かけるときに使える便利な操作方法など、スマホをきっかけにできることを増やし、人とのつながりも広げてみませんか？

10月・11月 スマホ講座

時①10月29日(木) 10:30～11:30

②11月 5日(木) 10:30～11:30

③11月12日(木) 10:30～11:30

④11月19日(木) 10:30～11:30

場土居商店街エグジーハウス

(日吉町1-4-1)

問地域つながりサポート

やまもとせいや
山本聖也氏

☎080-5312-2842



シニア活躍中！カフェ・こども食堂など 多世代が集まる場所

株式会社ゆいグループ

9月から「宿題カフェ」を開催しています♪子どもたちが安心して集って、宿題をしたり、勉強後は自由に遊んだりできる「第三の居場所」です。「家では宿題が進まない」「誰かと一緒に勉強したい」という子どもも大歓迎！ひとりでも、友達とでも、ぜひ気軽に遊びに来てくださいね～！

毎月第3土曜日 開催中

時毎月第3土曜日

①10:00～13:00 こども食堂(こども無料、大人300円)

②13:00～14:00 おしゃべりカフェ

③13:00～16:00 宿題カフェ(持ち物:学校の宿題・筆記用具・水筒)

場株式会社ゆいグループ1階

(大久保町1-45-15)

問株式会社ゆいグループ

☎06-6901-8562

ボランティアを募集！

学習を見守り、分からないところを教えてくれるボランティアも募集中です。地域のために何かしたい人も、ぜひ参加してください。

